学校番号	２０１

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　生物　（東京書籍）						
副教材等	「レッツトライノート」 Vol.1･2･3（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本的事項を理解し、精部に関する知識の蓄積を通して生物の理解を深めていく。
帰納的に理論を生み出す経験を積ませるため、協同学習を通し、データの読み取り・解釈・議論を通した科学的思考の訓練を随時行う。また、その目標達成に関する評価のため、適宜、実験・調査レポート作成・発表を行う。

2　学習の到達目標

- 生物や生物現象を，科学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。
- 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ，科学的な自然観を育てる。
- 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに，実験に対する目的，仮説，準備，方法，結果，考察，発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。
- 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て，生命を尊重する精神を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:実験・観察の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	さまざまな生物や生物現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	さまざまな生物や生物現象ついて、問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	実験実習を通して，基本操作を習得するとともに，観察過程や結果を的確に記録，整理し，科学的に探究する技能を身に付けている。	さまざまな生物や生物現象について,基本的な概念や原理･法則を理解し,知識を身に付けている。
評価方法	授業中での質問内容や、発問への解答内容 実験プリントやレポートなどに書かれた感想･考察の内容	授業中での質問内容や、発問への解答内容 実験プリントやレポートなどに書かれた感想･考察の内容	実験実習時の観察 実験プリントやレポートなどに書かれた感想･考察の内容 適切な方法･手順で安全に実験実習に取り組めているか。	年間 5 回行われる定期考査や授業中に行う小テスト 授業中での質問内容や､発問への解答内容 実験プリントやレポートなどに書かれた感想･考察の内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	第3編　生殖と発生	3章　動物の発生のじくみ					a: さまざまな生物や生物現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 b: さまざまな生物や生物現象ついて、問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 c: 実験実習を通して，基本操作を習得するとともに，観察過程や結果を的確に記録，整理し，科学的に探究する技能を身に付けている。 d: 生さまざまな生物や生物現象について，基本的な概念や原理･法則を理解し，知識を身に付けている。	● 授業にて行う小テストや定期考査 ● 実験での取り組む姿勢やレポート内容
		1節　動物の対軸とその決定	○	○		○		
		2節　胚の細胞の発生運命 原腸形成	○	○		○		
		3節　胚の細胞の分化と誘導	○	○		○		
		4節　動物に共通する形づくりのしくみ	○	○		○		
		5節　発生とゲノム	○	○		○		
	第4編　生物の環境応答	4章　植物の発生						
		1節　被子植物の生殖と胚発生	○	○		○		
		2節　被子植物の器官分化	○	○	○	○		
		1章　動物の刺激の受容と反応						
		1節　刺激の受容から反応	○	○		○		
		2節　ニューロンの性質	○	○		○		
		3節　刺激の受容のしくみ	○	○	○	○		
		4節　中枢神経	○	○		○		
		5節　骨格筋のはたらき	○	○		○		
2	第4編　生物の環境応答	2章　動物の行動						
		1節　動物行動4つのなぜ	○	○		○		
		2節　動物の行動の例	○	○		○		
		3章　植物の環境応答						
		1節　植物ホルモン						
		2節　発芽の調節	○	○		○		
		3節　栄養成長の調節	○	○		○		
		4節　気孔の開閉の調節	○	○		○		
		5節　花芽形成の調節	○	○		○		
		6節　老化と落葉	○	○		○		
		7節　ストレスに対する応答	○	○		○		
	第5編　生態と環境	1章　生物の多様性と生態学	○	○		○		
		2章　個体群と生物群集						
		1節　個体群と環境	○	○		○		
		2節　個体群の構造と成長	○	○		○		
		3節　個体間の相互作用	○	○		○		
		4節　種間の相互作用	○	○		○		
		5節　生物群集の成り立ち	○	○		○		

2・3	第5編　生物の進化と系統	3章　生態系の物質生産とエネルギーの流れ 1節　食物網と物質生産 2節　生態系の構造とエネルギーの流れ 4章　生態系と生物多様性 1節　生物多様性とその意味 2節　生物多様性を減少させる要因 3節　生物多様性の保全と復元 1章　生命の起源と生物の変遷 1節　生命の起源 2節　生物の変遷 3節　人類の変遷 2章　進化のしくみ 1節　進化とは 2節　生物の個体間の変異とその起源 3節　遺伝子頻度 4節　種分化 5節　共進化 3章　生物の系統 1節　生物の系統 2節　生物の世界の3ドメイン 3節　原生生物 4節　植物 5節　菌類 6節　動物	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a a: さまざまな生物や生物現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 b: さまざまな生物や生物現象ついて、問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 c: 実験実習を通して，基本操作を習得するとともに，観察過程や結果を的確に記録，整理し，科学的に探究する技能を身に付けている。 d: 生さまざまな生物や生物現象について，基本的な概念や原理･法則を理解し，知識を身に付けている。	● 授業にて行う小テストや定期考査 ● 実験での取り組む姿勢やレポート内容

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:実験・観察の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。